

公園・遊園地における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	23～24	リハーサル中にタップの動きを約3時間行ったところ、右膝下の痛みが悪化した。	22	10000～
1	16～17	衣装を着用し、パレードショーに出演中、決められた振りが前に進みづらい振りで、遅れが発生し、その後のフリー演技で遅れを取り戻そうとスキップをしながら前進している時に、右足を地面にとられ、右足首を外側に捻り、右足首内側を痛めた。	28	10000～
2	10～11	ベビーカーレンタル正面右側のスタンション前にて、ベビーカー貸出作業の際、次のゲスト対応に移る為、後ろに数歩下がったところ、後方（本人とスタンションの間）を進行中にゲストの私物ベビーカーに気付かず、右足で右前輪を踏んでしまい、右足首を捻った。	56	10000～
2	10～11	衣装を装着しないリハーサルで、ウォーミングアップしていた時、靴下の状態で、音楽に合わせて前屈をしながら屈伸をするストレッチを2回ほど行い、足を伸ばした際に左膝の裏側からブチッという音がして痛みが発生した。（動きは特に勢いをつけたりすることなく、通常通りの力加減である。ウォーミングアッププログラムは約8分間で、開始より5分ほど経過した際にこのような動きが盛り込まれている。）	28	10000～
2	13～14	時代劇扮装の館の中で、お客様スペースから休憩の為スタッフルームに入ろうと、2段ある階段をのぼった際、ふくらはぎに痛みがはしり、その後歩けなくなった。	50	100～299
		全身に衣装を装着し、全5回のうち4回目のステージショーに出演中、「客席からステージに向かって階段を上がり、キャラクターボイスに合わせてセリフを		

3	18~19	言った直後、移動しながら決まったタイミングで手を挙げ、両足でジャンプ（約20cm）する」振りで、両足での着地時に右ふくらはぎに痛みが発生した。その後、動きを軽減し出演を継続したが、最後のシーンで足を引きずるほど悪化し、講演終了後すぐにアイシングを実施した。5回目公演は、代役を立てて出演をカットし、自力での帰宅が困難だったため、タクシーで帰宅した。	43	10000 ～
3	19~20	衣装を着用しないステージショーのリハーサルで右に移動しながら両手を上げ、左足でジャンプする振りで、左足で踏み込んだ際、左ふくらはぎに痛みが発生した。それまで4年間在籍していたステージでは、5cmのヒール靴で2.7度の傾斜のあるステージで踊っていた。現在のステージでのリハーサルが開始となり、フラットなステージでヒールなしでの踊りは、環境に慣れておらず、ふくらはぎに通常以上の負荷がかかった。	33	10000 ～
4	15~16	作業室において、発送チケットの封入作業中、突然手首の痛みを感じた。夜に湿布を貼って様子を見していたが、翌日になっても痛みがあった。	38	10000 ～
4	11~12	衣装を着用しパレードに出演中、「右足を軸に右回転し左足重心でポーズをとる振り」で、右足を軸に勢いよく回転し、左足重心でポーズを取った際、左足太ももからふくらはぎにかけ強い痛みが発生した。発生後、左足に体重がかけられない程の痛みがあった為、振りを軽減し、最後まで出演した。公演終了後、足を引きずって歩行する状態だった。	28	10000 ～
4	12~13	全身に衣装を装着し、ステージショーに出演中の着替えで、衣装のレギンスを立った状態で脱ぎながら前屈みに約45度腰を曲げた際、腰に痛みが発生した。	21	10000 ～
5	16~17	全身に衣装を装着し、全3回のうちの1回目の出演中、台詞の終わりに、「前屈みし顎を引いた状態から、上を見るように、首と腰を反らせた」際、腰に痛みが発生した。その後、振りを軽減し最後まで出演したが、1回目公演後に早退した。帰宅後に痛みが悪化し、歩行困難な状況となった。	34	10000 ～
5	9~10	全身に衣装を装着し、ステージショーに出演中、首を左右に2回振る内の1回目に左を向いた時、左側に座っている出演者と、目を合わせようと通常の動きで左下に頭部を傾けた際、右肩甲骨から首にかけピキッと引っ張られた感覚が発生した。痛みはなかったので、アイシングを行い、出演を継続した。（違和感	25	10000 ～

		や悪化なし) 後日起床したところ、首に痛みが発生した。		
5	16~ 17	全身に衣装を装着し、5回公演の4回目のステージショーに出演中、2年前に痛めた左ふくらはぎをかばいながら、「片足ずつ腿から上げ、その場でスキップをしているような動き」のステップをしていたところ、徐々に右膝裏に痛みが発生した。不安な気持ちになったものの、最後まで出演したところ、終了後に過呼吸になり、右膝の痛みもあった。(当日は右膝に痛みがあり、アイシング・コンディショニングルームでケアを実施)	32	10000 ~
5	13~ 14	バイキングスタイル・レストランにて食べ終えた食器を下げる業務中、手首に痛みを感じるようになったが、スタッフの不足もあり通常勤務より長い時間就労していた。その後、左手に痺れが発症し、重たい物は持たないように気をつけていたが、退職者の発生により勤務頻度が増し、左手親指付け根辺りが痺れ、床に手を着く・洗髪・手首を捻る・重い物を吊る等の動作ができなくなった。	55	500~ 999
6	16~ 17	カヌー乗り場にて、船首キャストとして出航するため、カヌーに乗り込んだ際、右足首を船内床板に着地する時に捻ってしまう。	21	10000 ~
7	22~23	全身に衣装を装着し、ステージショーに全公演出演後、退勤のため、建屋を出てすぐの階段を下りている際、左足を着いた時に左膝に違和感・痛みが発生。通常歩行ができる状態だったため、左足を庇うように歩きながら帰宅。アイシングとマッサージを行った。以降、コンディショニングルームを利用し様子を見ながら出演を継続。後日ステージショーにて「ボーボールを床面に叩きつけながらしゃがんで静止し、その後勢いは付けずに立ち上がった」際、左膝に強い痛みを感じた。	28	10000 ~
7	9~10	被災者は場内におけるギャベージ(生ゴミ置き場)でゴミ収集の業務を行っていた際、持ち上げたゴミが重かったために腰を痛めた。	34	1000 ~ 9999
	10~	店舗地下倉庫にあるペットボトル飲料を店舗へ運ぶため、空の台車(二段仕様)を運び、冷えたペットボトルドリンクを冷蔵庫から出し、空の段ボールに詰め、台車にのせる作業で、段ボール(約12kg)を上段から下段へ移動させた		10000

7	11	際、腰に痛みが発生した。その際、膝は曲げていたが、頭を台車にぶつけないよう、腕のみで移動させていた。その後はレジ業務だったため、多少の違和感はあるものの勤務を継続したが、後日に痛みが再発した。	32	～
7	16～ 17	勤務終了後、くしゃみをした際に、入社当時から痛めていた腰にピキッと痛みがはした。今までも同様な痛みを感じたこともあったため、そのまま帰宅した。本人の申告によると、全身に総重量10.5kgの衣装を装着して挨拶する業務に計2回出演した中で、子どもと接するために腰を屈めた際に腰の痛みが悪化した。私物の腰サポーターを使用して最後まで出演したとのことである。なお、当日は、以前より腰への蓄積疲労からくる痛みが気になっていたが、日頃から自身でのケアを行っており、勤務を続けていた。出勤時に、日頃と同レベルの痛みであると申告しており、コンディショニングルームの予約が取れなかったが、痛みが増している感覚がなかったため、そのまま最後まで勤務した。	24	10000 ～
7	16～ 17	全身に衣装を装着し、レストラン内でゲストと触れ合う業務6回中の4回目で、「左足を軸に右足を左足に添えるポーズ」をとった際、腰の左側から左足にかけ、強い痛みが発生した。発生後は、動きを軽減し最後まで出演した。楽屋に戻ったとき、歩行も困難な状態であったため、タクシーにて早退した。なお、発生時のポーズは頻繁に行う動きであり、発生時も通常通りに行った。入社前に臼蓋骨形成不全と診断されたことはあるが、入社後に痛み・違和感はなかったため、通院はない。	24	10000 ～
9	17～ 18	衣装を着用し、ステージショーに出演中、男性ダンサーとのペアダンスで、「お互いに片手で握り合い体重を後方にかけ、その後引っぱり合って近づく振り」で、相手の引っ張りが強く、首だけが後ろに残ったまま、身体だけが前に出てしまい、首に痛みが発生。その後痛みはあったが、動きを軽減しながら、最終回まで出演した。	36	10000 ～
9	13～ 14	屋外アトラクション施設にて、カヌー船尾キャストとして操船中に右わき腹に痛みが生じたが、筋肉痛と自己判断し、勤務継続。翌日休日のため、安静に過ごしていたが、回復せず欠勤。一週間程度様子を見していたが、痛みが残っていたため、後日社内救護室受診し、外部病院受診となった。	22	10000 ～

9	12～ 13	全身に衣装を装着しての挨拶業務の前に、衣装を着た状態で、シューズを履こうと、椅子に座った状態で前屈みになろうとした際、前屈みになれないほどの腰の痛みを自覚、前日のオーディションの疲れだろうと考え、動きの軽減は行わずそのまま勤務を継続。出演後、下半身が重たくなるような感覚があったが、そのまま帰宅、その後も、腰の痛みは継続してあったが、様子を見ながら出演、腰の痛みと併せて、右足の痺れのようなものを自覚。コンディショニングルームを利用し様子を見ていたが、腰の痛み、右足の痺れが強くなり、社内救護所を受診し、外部病院を受診した。（発生当日の挨拶業務で小さい子供が多く腰を屈める動きが多かったことが要因と考える。）	32	10000 ～
9	16～ 17	ゲスト撮影写真販売スポットにおいて、従来は3枚とも立ったまま写真撮影していたが、職場上司から3枚の写真を異なる四角のものにするとゲストに喜んでもらえるから1枚はしゃがんで撮るように指示を受け、1枚をしゃがんで撮影するようにした、次から次へとテンポよく撮影し、右足だけでスクワットをしているような状態となり、右足に負担がかかり右足内腿に激しい痛み（棒で殴られたような痛み）が発生し受傷した。	20	1000 ～ 9999
11	9～ 10	被災者は、倉庫内作業にてトートと呼ばれるピッキング作業時に使用する容器をハンドフォークを使用して各エリアを巡回しながら搬送・補充する作業に従事していた。狭い通路の角を曲がる際、搬送物を壁に強打させてしまい、その振動が腕にまで伝わり痛みが発生し、作業困難となった。	34	10000 ～
11	11～ 12	階段で一人でうどん1袋を持ち運んでいる途中、踏み外して転げ落ちた。	25	10000 ～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html